

蘇生法講習やトーク会

豊 橋

「ハートの日」イベントにぎわい

心臓の突然死を救お「の日イベント」が10日、ういなど掲げた「ハート」ホテル日航豊橋で開かれ



第一線の医師らが本音トーク＝ホテル日航豊橋で

大盛況だった。

同実行委員会、日本心臓財団が主催、豊橋赤十字センター、同市医師会などの後援。同市大山町の心臓専門施設・豊橋ハートセンターが提唱し、今年で8回目の活動だ。午前中のハート健診には開会前から大勢が並び、肥満度や体脂肪血圧測定、血液、心電図検査

などのサービスを受けた。また、ハート勉強会では米田正始京大教授から、メタボリックシンドロームの危険性や注意、予防などを学んだ。救急蘇(そ)生法講習会には文筆家・阿川佐和子さんと一緒に、心臓マッサージやAEDで応急救助を体験。午後からのトーク・講



皆でチャレンジした救急蘇生法＝同

演会は、テレビで人気の心臓外科スペシャリストで、大和成和病院長・南洲明宏氏、大川秀秀同ハートセンター副院長、米田教授、伊藤隼也医療ジャーナリストが登場。阿川さんの司会で「医師の利用法」をテーマに進めた。

阿川さんが患者の立場から、良い病院、良い医師の選び方など質問。各氏は「電話の応対でいい病院かどうか分かる」「いい医師は説明が分かりやすい」「大学病院は教育機関で、いい病院とは限らない」「手術の腕には天と地の差がある」など本音が続出した。

第2部は「間違っていないませんか? 油脂(あぶら)の選び方」を、奥山治美・金城学院大薬学部センター長が話した。植物油の危険性が指摘され、「マーガリンよりバター」の新説を強調した。

(星野のりこ)